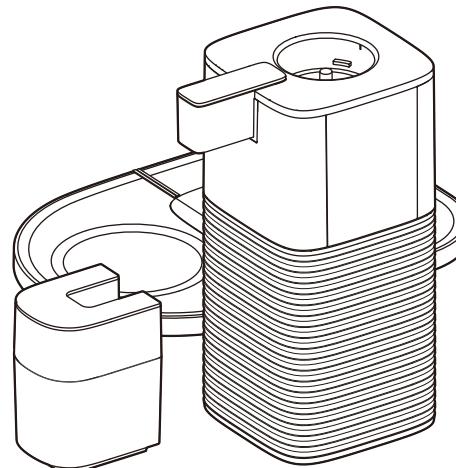


●業務用として使用しないでください。
●他の用途で使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

次世代電気ポット YDB-2L

もくじ



■ 安全上の注意	1~4
■ 各部の名称	5~6
■ 使用前の準備	6~7
■ 使いかた	
● 電源プラグを家庭用コンセントに差し込む	8
● 給湯する	9~10
● コーヒーやお茶を入れる	11~12
● 使用後は	13
■ エラー表示について	13~14
■ お手入れと保管	14~16
■ 仕様	17
■ 故障かな?と思ったら	17
■ こんな表示のときは	18
■ 点検のお願い	18
■ アフターサービスについて	18
■ 保証書	裏表紙

この製品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社電気ポットをお買上げいただき誠にありがとうございました。
- 使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
- 読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ
YAMAZEN BOOKを
チェック!



随時情報を更新中!

安全上の注意

使用する前に「安全上の注意」をよく読み、必ず守ってください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用者の人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

○記号は、禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。

○記号は、強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは、使用者人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。

警告

■ 電源コード・電源プラグについて

電源プラグは、根元まで確実に真っ直ぐ差し込む
●発熱・感電・火災の原因になります。
○斜めに差し込まない。

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、電源プラグの差し込みがゆるいときは、使用しない
●ショート・感電・火災の原因になります。

本体、電源コード、電源プラグに破損、故障、異常があったり、異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する
●やけど・感電・火災の原因になります。
※故障・異常例
18ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか？」を参照して異常があるときは、直ちに使用を中止する。必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店に点検や修理を依頼してください。

電源コードの上に、本体や物を載せたり、挟み込まない
●ショート・感電・火災の原因になります。

使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
●感電・漏電火災の原因になります。
プラグを抜く

家庭用コンセント(AC 100V、定格15A以上)を単独で使用する
●家庭用コンセント(AC 100V)以外で使用すると、誤作動・故障の原因になります。

●コンセントや配線器具の定格を超える使いかた(タコ足配線など)をすると、異常発熱・火災の原因になります。

定期的に電源プラグのホコリをふき取る
●ホコリがたまると、湿気によって絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。

○ホコリは、乾いたふきんでふき取る。

電源コードや電源プラグを傷付けたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、巻き付けたり、たばねて使用しない
●ショート・感電・火災の原因になります。

○必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす。

電源コードを引っ掛けないように注意する
●転倒や落下して、故障・けが・やけどの原因になります。

警告

■ 設置について

可燃性ガスや引火性の物(ガソリンやシンナーなど)がある場所に設置したり、スプレー缶(掃除用、整髪用、殺虫剤など)を近くに置かない
●爆発・火災の原因になります。

安定した水平なテーブルや台の上に設置する

●転倒や落下して、故障・けが・やけどの原因になります。
○傾いた場所や不安定な場所に設置しない。

設置場所や設置のしかたには、十分注意する

指示に従う ●下記のような設置をすると、不意に本体に接触したり、電源コードを引っ掛けたり、引っ張ったりして本体が転倒し、やけどの原因になります。

○床(フローリング、畳、じゅうたん)に直置きしない。

○設置する台(テーブルやキッチンカウンターなど)から、電源コードを垂らさない。

○人が通る場所に電源コードを這わせない。

水がかかる場所、水にぬれた場所、湿気の多い場所に設置しない
●ショート・感電・火災の原因になります。
水ぬれ禁止

■ 使用について

分解、修理、改造をしない
●やけど・感電・火災の原因になります。
※修理は、お買上げの販売店に依頼してください。
分解禁止

子供や取扱いに不慣れな方だけを使用しない
●乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない
●けが・やけど・感電の原因になります。
禁止

電源プラグ、すき間、開口部に、金属物や異物を付着させたり、入れない
●ショート・感電・火災の原因になります。
禁止

2L以下のペットボトルを使用する
●転倒して水がこぼれたり、破損・ショート・やけどの原因になります。
指示に従う ○アダプタキャップの口径と合わない
ペットボトルは使用しない。

カップを持ったまま、給湯しない
●熱湯が飛び散ったり、手にかかったり、カップが熱くなって、やけどの原因になります。
○必ずベースにカップを置いて給湯する。
禁止

空焚きをしない
●故障・やけど・火災の原因になります。
○水を入れたペットボトルを取り付けていない状態で給湯しない。
禁止

使用中は、その場を離れない
●熱湯がこぼれたり、ショート・火災の原因になります。
禁止

水以外の物をペットボトルに入れて給湯しない
●水以外の物(お茶、ティーバッグ、牛乳、酒、スープなど)を入れて加熱すると、焦げつき・腐食・故障したり、吹きこぼれてやけどの原因になります。

使用中や使用後しばらくは、給湯口に手や顔を近づけたり、触れない
●やけどの原因になります。
○とくに乳幼児には、触らせないように注意する。
接触禁止

本体を持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、十分冷めてからおこなう
●ショート・やけど・感電の原因になります。
○十分冷めるまで、持ち運ばない。
指示に従う

⚠ 警告

■ お手入れ・保管について

 お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
●ショート・やけど・感電の原因になります。
プラグを抜く ○電源プラグをコンセントに差し込んだまま、お手入れをしない。

 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
●ショート・感電の原因になります。
ぬれ手禁止

 本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない
●ショート・感電・火災の原因になります。
水ぬれ禁止

 お手入れのときは、十分冷めてからおこなう
●やけどの原因になります。
指示に従う

 各種スプレー（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を吹き付けない
●本体内部にガスが滞留して、爆発・火災の原因になります。
●変色・破損の原因になります。
禁止

 包装用ポリ袋は、子供の手の届かない場所に保管する
●誤って顔にかぶつたり、巻き付いたりして、窒息する原因になります。
指示に従う

⚠ 注意

■ 電源コード・電源プラグについて

 電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って、真っ直ぐ抜く
●ショート・感電・火災の原因になります。
指示に従う ○電源コードを引っ張って抜かない。

 電源コードを持って本体を引っ張らない
●設置場所が傷付いたり、本体が転倒して、ショート・やけど・感電・火災の原因になります。
禁止

■ 設置について

 油、油煙、金属粉が発生する場所（厨房や工場）やホコリの多い場所に設置しない
●変形・故障・感電・火災の原因になります。
禁止

 直射日光があたる場所、火気や熱源（コンロや暖房器具）の近く、温度が高くなる場所に設置しない
●変色・変形・水漏れ・火災の原因になります。
禁止

 屋外に設置しない
●ショート・感電・火災の原因になります。
禁止

⚠ 注意

■ 使用について

 禁止 業務用に使用しない
●無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。

 指示に従う 動物（犬や猫など）がいる部屋で使用するときは、十分注意する
●本体や電源コードを傷め、ショート・感電・火災の原因になります。

 指示に従う ボトル差し込み口、給湯口、アダプタキャップは、常に清潔に保つ
●カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、健康を害する原因になります。
○ボトル差し込み口に異物が入った状態でペットボトルを取り付けない。

 指示に従う 600mL以上のペットボトルを使用するときは、必ずベースを取り付ける
●転倒して水やお湯がこぼれたり、破損・故障・やけどの原因になります。

 指示に従う 給湯するときは、壁、家具、キッチン棚に蒸気があたらないように注意する
●壁、家具、キッチン棚が変色したり、傷める原因になります。

 指示に従う 長時間使用しないときや凍結のおそれがあるときは、ペットボトルを取り外しておく
●カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、水漏れや故障の原因になります。

 禁止 落としたり、強い衝撃を与えない
●破損・故障・けがの原因になります。

 指示に従う 持ち運ぶときは、本体をしっかりと持つ
●破損・故障・けがの原因になります。
○持ち運ぶときは、ペットボトルを取り外してからおこなう。

■ お手入れ・保管について

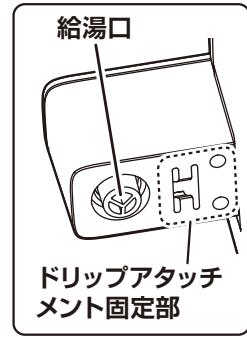
 禁止 お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面、金属ブラシ類は使用しない
●変色・傷・破損の原因になります。
○お手入れは、14~16ページの「お手入れと保管」を参照する。
○傷が付きやすい物やかたい物でお入れをしない。

 指示に従う 電源プラグの汚れは、乾いたやわらかいふきんでふき取る
●ショート・感電の原因になります。
○ぬれたふきんでふかない。

 指示に従う お手入れは、こまめにおこなう
●水アカが付着したり、異臭の原因になります。
○ペットボトル差し込み口や本体内部に残った水は、排水しておく。

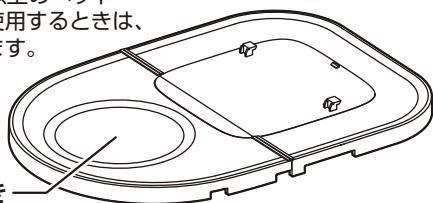
各部の名称

本体



ベース

600mL以上のペットボトルを使用するときは、取り付けます。



ドリップアタッチメント

内部のフィルターにコーヒー粉やお茶の葉を入れて使用します。



ドリップアタッチメントを分解した状態



アダプタキャップ



ペットボトルの口径に合わせて使い分けます。

計量スプーン



コーヒー粉やお茶の葉を入れるときに使用します。

●本書は、イラストを用いて説明しています。実際の製品とは、多少異なることがあります。

各部の名称

操作部/表示部



表示部

温度、濃度、チャイルドロックの「[CL]」が表示されます。



給湯スイッチ



電源スイッチ

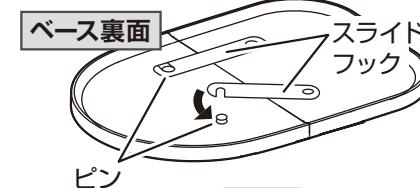
- 各スイッチは、タッチスイッチになっています。
指が汚れています、ぬれていますと反応しないことがあります。

使用前の準備

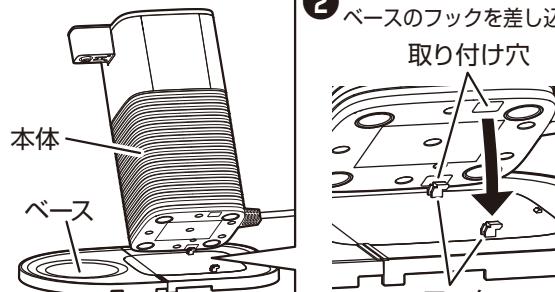
ベースを取り付ける (600mL以上のペットボトル使用時)

- 折りたたんであるベースを広げ、ベース裏面のスライドフック2本を回転させて、ピンに差し込みます。
- 本体底面の取り付け穴にベースのフックを差し込みます。
- ベースが動かないように押さえながら、本体をベースのカップ置き側にスライドして確実に固定します。

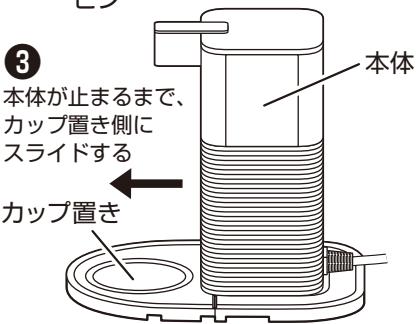
- スライドフック2本を回転させて、ピンに差し込む



- 本体底面の取り付け穴にベースのフックを差し込む



- 本体が止まるまで、カップ置き側にスライドする



500mL以下のペットボトルを使用するときは、ベースを取り付けずに使用できます。

注意

※600mL以上のペットボトルを使用するときは、必ずベースを取り付けてください。
重心が高くなつてバランスをくずしやすくなり、使用中に転倒して水やお湯がこぼれて周囲をぬらしたり、破損・故障・やけどの原因になります。

使用前の準備

ペットボトルに水を入れる

- お手持ちのペットボトルに水を入れます。(2Lのペットボトルまで使用できます)

- アダプタキャップをペットボトルに取り付けます。

- アダプタキャップのゆるみや水漏れがないか確認します。

アダプタキャップには、口径が刻印してあります。ペットボトルは、種類によって口径が異なるため、使用するペットボトルの口径に合うアダプタキャップを取り付けます。

口径に合うアダプタキャップを使用する。

28mm用
「28」の刻印

30mm用
「30」の刻印

*口径がどちらとも合わないペットボトルは、使用しないでください。



注意

*ペットボトルに水を入れたまま、極端に長い時間放置しないでください。

雑菌が増えて、不衛生な状態になることがあります。

*廃棄するとき、つぶしやすくするために薄く作られているやわらかいペットボトルは使用しないでください。使用中にペットボトルが変形したり、水漏れの原因になります。

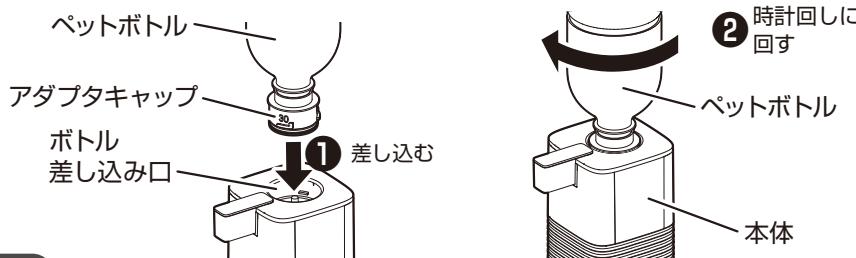
*ペットボトルには、常温の水を入れてください。

冷水やお湯を入れると、温度が安定しない原因になります。

ペットボトルを本体に取り付ける

- アダプタキャップを取り付けたペットボトルを本体のボトル差し込み口に差し込みます。

- ペットボトルを時計回しに止まるまで回します。



注意

*ボトル差し込み口に水が残ったままペットボトルを取り付けると、残った水があふれてこぼれることがあるため、一度排水してから取り付けてください。

使いかた

電源プラグを家庭用コンセント(AC 100V)に差し込む

△警告

家庭用コンセント(AC 100V、定格15A以上)を単独で使用する

指示に従う

- 家庭用コンセント(AC 100V)以外で使用すると、誤作動・故障の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかた(タコ足配線など)をすると、異常発熱・火災の原因になります。



必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす。電源プラグをコンセントに真っ直ぐ差し込む。

電源が入った状態

95



- 電源プラグを家庭用コンセントに、根元まで確実に差し込みます。
 - 電源が入り、すべてのスイッチが点灯します。
 - 表示部に「95」を表示して、待機状態になります。
- *使用するときは、下記それぞれのページに記載の使いかたに従って、操作してください。

給湯するときは 9~10ページへ



コーヒーやお茶を入れるときは 11~12ページへ

すべてのスイッチが点灯

お知らせ

- 待機状態で電源スイッチをタッチするか、待機状態のまま30秒間何も操作しないと、自動的にチャイルドロックが設定されます。
- チャイルドロックが設定されているときは、チャイルドロックを解除する以外の操作ができなくなります。
- チャイルドロックを解除するときは、電源スイッチを長タッチします。

チャイルドロックが設定された状態



表示部に「L」を表示



電源スイッチのみ点灯

メモリ機能が付いています

- 最後に設定した温度や濃度の設定状態がメモリされます。
- メモリ機能がはたらいていると、再度設定しなくても前回と同じ設定状態で給湯やドリップができます。
- メモリ機能は、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電して電源が供給されなくなるとリセットされます。

使いかた

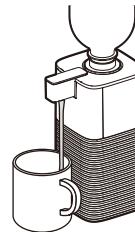
はじめて使用するときは

※お買上げ後はじめて使用するときは、内部の洗浄をおこなうために、電源が入ったときの状態で給湯してください。

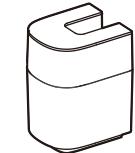
給湯したお湯は、飲まずに捨ててください。

しばらく使用していなかったときも、内部の洗浄をおこなってから使用してください。

給湯方法は、9~10ページの「給湯する」を参照してください。



※ドリップアタッチメントをはじめて使用するときは、使用前にドリップアタッチメントをお手入れしてから使用してください。お手入れ方法は、14ページと16ページの「お手入れと保管」を参照してください。



給湯する

温度を設定する



- 温度スイッチをタッチします。
- 温度スイッチが点滅にかわります。
- 温度スイッチをタッチするごとに下記のように順送りで温度表示がかわります。
- 表示部を見ながら設定します。

95 → 90 → 85 → 80 → 75 → 70

↓ 65 → 60 → 55 → 50 → 00 → 95 にもどる
(出水モード)

- お好みの温度を表示させたまま2秒間待つと、温度が設定されます。
- 出水モードに設定すると、ヒーターで加熱することなくそのまま常温で出水できます。
- 温度または出水モードが設定されると、温度スイッチが点灯にかわります。

お知らせ

- 一度温度を設定すると、設定した温度がメモリされます。

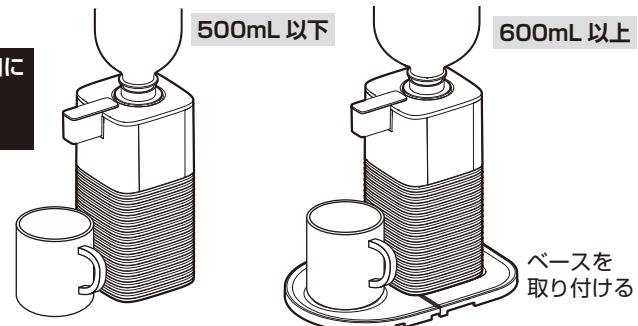
使いかた

給湯する つづき

給湯する

- カップを置きます。

使用中や使用後しばらくは、給湯口に手や顔を近づけたり、触れない。
カップを持ったまま、給湯しない。



手動で給湯するときは

- 給湯スイッチをタッチします。
(長タッチする必要はありません)
- 給湯スイッチのみ点灯して、給湯を開始します。
- お好みの量になったらもう一度給湯スイッチをタッチして給湯を停止させます。
- 給湯が停止すると、すべてのスイッチが点灯にかわります。

給湯スイッチをタッチ

95



注意

- ※手動で給湯するときは、自動で停止しませんのでカップからお湯があふれないように注意してください。
- ※くり返して給湯するときは、最大2Lまでにしてください。
2L以上給湯するときは、本体内部が規定温度を超えないようにするため、しばらく休止してから再給湯してください。

95



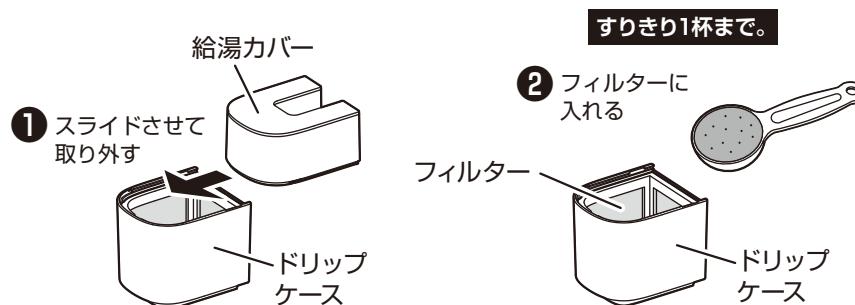
給湯スイッチのみ点灯

使いかた

コーヒーやお茶を入れる

ドリップケースにコーヒー粉 または お茶の葉を入れて、本体に取り付ける

- ドリップケースを給湯カバーから取り外します。
- コーヒー粉 または お茶の葉を付属の計量スプーンすりきり1杯分（約6g）を計量して、ドリップケース内のフィルターに入れます。

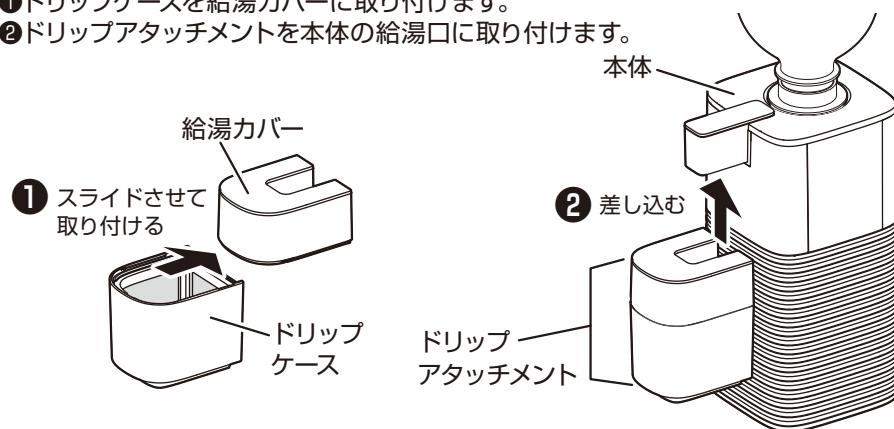


注意

※コーヒー粉 または お茶の葉は、付属の計量スプーンすりきり1杯分（約6g）までにしてください。
濃度は、コーヒー粉 または お茶の葉の量ではなく、ドリップ時間の長さによりかえているため、入れすぎるとお湯があふれて漏れたり、やけどの原因になります。

- ドリップケースを給湯カバーに取り付けます。

- ドリップアタッチメントを本体の給湯口に取り付けます。



注意

※ドリップアタッチメントを完全に止まるまで差し込んで取り付けてください。
ドリップ中に外れて、やけどの原因になります。

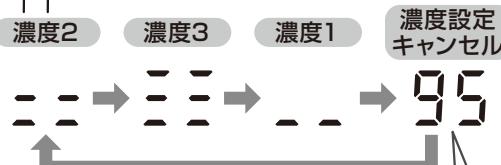
使いかた

コーヒーやお茶を入れる つづき

濃度を設定する



- 濃度スイッチをタッチします。
- 表示部が濃度表示にかわって、濃度スイッチが点滅にかわります。
- 濃度スイッチをタッチするごとに、下記のように順送りで濃度表示がかわります。
- 表示部を見ながら設定します。



濃度について (3段階で設定できます)

濃度設定	濃度の選びかた
濃度1	濃いと感じるときは、1に設定します。
濃度2	標準の濃度です。
濃度3	薄いと感じるときは、3に設定します。

濃度はドリップする時間の長さによりかえっているため、濃度1よりも濃度3のほうが、ドリップ時間が長くなります。

- お好みの濃度を表示させたまま2秒間待つと、濃度が設定されます。
- 濃度が設定されると、表示部が温度表示にかわります。

お知らせ

- 一度濃度を設定すると、設定した濃度がメモリされます。
- メモリ機能がはたらいている状態で濃度スイッチをタッチすると、メモリした濃度が表示されてそのまま設定されます。（濃度の変更は可能です）

温度を設定する



- 温度を変更するときは、温度スイッチをタッチします。
- 温度スイッチをタッチすると、温度スイッチが点滅にかわります。
- 温度スイッチをタッチするごとに下記のように順送りで温度表示がかわります。
- 温度が決定すると温度スイッチが点灯にかわり、濃度スイッチが点滅します。



給湯（ドリップ）する

- カップを置きます。
- 給湯スイッチをタッチします。
- 濃度スイッチと給湯スイッチのみ点灯し、自動的にカップ1杯分給湯して停止します。
- 給湯が停止すると、すべてのスイッチが点灯します。
- 給湯の途中で停止したいときは、給湯スイッチをタッチします。

給湯スイッチをタッチ



使用中や使用後しばらくは、給湯口に手や顔を近づけたり、触れない。
カップを持ったまま、給湯しない。

濃度スイッチと
給湯スイッチが点灯



使いかた

使用後は

- 電源プラグをコンセントから抜いて、主電源を切れます。
※電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 本体が十分冷めてから、14~16ページの「お手入れと保管」に従ってお手入れをします。

電源プラグをコンセント
から真っ直ぐ抜く。



注意

※給湯やドリップ後しばらくは、給湯口に手や顔を近づけたり、触れないでください。
残り湯が滴下して、やけどの原因になります。

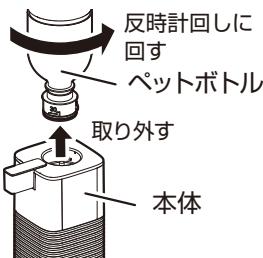
エラー表示について

表示部に「E0」が表示されたときは

給湯中にペットボトルの水がなくなると、「ピー、ピー、ピー」と音が鳴り、表示部に「E0」が表示されます。

ボトル差し込み口や本体内部に残った水を排水するときは（排水モード）

- ペットボトルを取り外します。
- 「E0」が表示された状態で給湯スイッチをタッチすると、排水モードが設定されて残った水を3秒間排水します。
- 「E0」の表示（渴水表示）は排水後も継続します。
つづけて使用するときは、水を入れたペットボトルを本体に取り付け、「E0」表示が温度表示にもどってから使用を再開します。

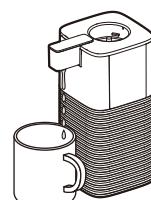


反時計回しに
回す
ペットボトル
取り外す
本体

E0



「E0」が表示された状態で
給湯スイッチをタッチします。



排水モードが設定されて
3秒間排水します。

エラー表示について

表示部に「E3」が表示されたときは

本体が大きく傾いたり、転倒すると、安全のため転倒OFFスイッチがはたらいて「ピー、ピー、ピー」と音が鳴り、表示部に「E3」が表示されます。

- 転倒OFFスイッチがはたらくと、すべての操作を受けつけません。 転倒OFFスイッチがはたらいた状態
- 本体を正常な状態に戻すと、表示部が温度表示にかわり、操作ができるようになります。

E3

表示部に「E4」が表示されたときは

過剰にくり返して給湯するなどして本体内部が規定温度を超えると、安全のため温度過昇防止装置がはたらいて「ピー、ピー、ピー」と音が鳴り、表示部に「E4」が表示されます。

- 温度過昇防止装置がはたらくと、すべての操作を受けつけません。 温度過昇防止装置がはたらいた状態
- 「E4」が表示されたときは、10分間以上休止して十分冷まします。
- 十分冷めると表示部が温度表示にかわり、操作できるようになります。
- 「E4」が表示された状態で電源プラグを抜き差しすると、表示部が温度表示になり給湯できるようになりますが、十分冷めていない状態で給湯すると、再度「E4」が表示されて給湯できません。

E4

お手入れと保管

電気ポットは、飲み物に使用する機器のため、使用後はお手入れをしていつも清潔な状態にします。

※各部品を取り外して、必ずこまめにお手入れをしてください。

※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

△警告



お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
●ショート・やけど・感電の原因になります。
○電源プラグをコンセントに差し込んだまま、
お手入れをしない。



お手入れのときは、十分冷めてからおこなう
●やけどの原因になります。
指示に従う

必ずお守りください

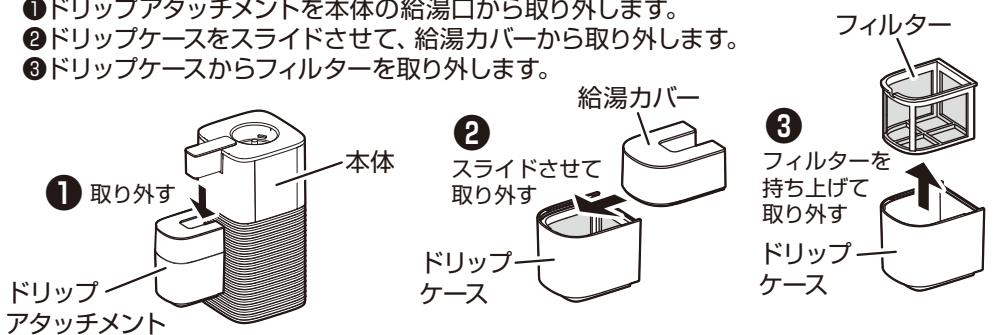
※各部品を取り外したり、お手入れをするとときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷めてからおこなってください。

お手入れと保管

■ お手入れをするときは、各部品を取り外します。

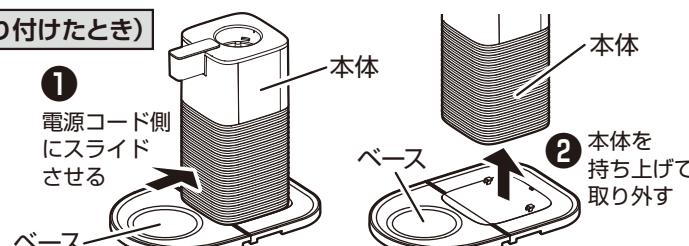
ドリップアタッチメントの取り外しかた

- ①ドリップアタッチメントを本体の給湯口から取り外します。
- ②ドリップケースをスライドさせて、給湯カバーから取り外します。
- ③ドリップケースからフィルターを取り外します。



ベースの取り外しかた（取り付けたとき）

- ①ベースを押さえたまま、本体をスライドします。
- ②本体を持ち上げて、ベースから取り外します。



本体

- 乾いたやわらかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。
- さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

※操作部や表示部は、ぬれたふきんでふかないでください。

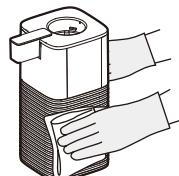
本体内部のお手入れについて

※水に含まれるカルキやミネラル分が本体内部に付着すると、お湯の出が悪くなったり、お湯からにおいがすることがあります。

そのようなときは、下記にしたがって本体内部をお手入れしてください。

- ①ペットボトルに水 400mL とクエン酸 10g を入れて、よくかき混ぜます。
- ②ペットボトルを本体に取り付けて、ベースにカップを置きます。
- ③温度を「50」に設定して、10秒間程度給湯します。
- ④そのままの状態で約30分間放置してから、残った水をすべて給湯します。
- ⑤ペットボトルに水のみを入れて、汚れやにおいが気にならなくなるまで、給湯をくり返します。
- ⑥ボトル差し込み口や本体内部に残った水を排水します。

※保管する前にも、必ず本体内部のお手入れをおこなってください。



お手入れと保管

ベース

- 食器用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



アダプタキャップ

- 食器用中性洗剤をブラシに数滴付けて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、水分を切ってよく乾燥させます。



ドリップアタッチメント

ドリップアタッチメントのお手入れ

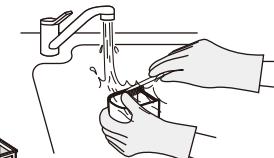
- 食器用中性洗剤をブラシに数滴付けて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、水分を切ってよく乾燥させます。



丸洗いできます

フィルターのお手入れ

- 食器用中性洗剤をやわらかいブラシに数滴付けて、やさしく水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、水分を切ってよく乾燥させます。



注意

※フィルターは、やわらかいブラシでやさしくお手入れしてください。
かたいブラシでお手入れしたり、乱暴に扱うとフィルターが破れる原因になります。

保管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。
(湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります)

注意

※電源コードの根元を曲げたり、電源コードを本体に巻き付けたり、電源コードや電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。
異常発熱・ショート・火災の原因になります。

仕様

電 源	AC100V 50-60Hz共用
消 費 電 力	1300W
製品寸法(約)	■本体 + ドリップアタッチメント + ベース 幅:225mm×奥行:155mm×高さ:210mm
	■本体 + ベース 幅:225mm×奥行:155mm×高さ:210mm
	■本体 + ドリップアタッチメント 幅:160mm×奥行:95mm×高さ:200mm
	■本体のみ 幅:130mm×奥行:95mm×高さ:200mm
製品質量(約)	980g (本体 + ドリップアタッチメント + ベースすべて含んだ質量)
コード長(約)	1.0m
温度設定範囲	常温・50°C~95°C (50°C~95°Cまで5°C単位設定)
安全機能 安全装置	チャイルドロック、漏水検知、転倒OFFスイッチ
	電流ヒューズ
	サーモスタット (温度過昇防止装置)

- 製品の仕様や外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 製品寸法の幅については、製品本体側の電源コード根元部は含んでいません。
- 特定地域(高地、厳寒地など)では、所定の性能が確保できないことがあります。

故障かな?と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
電源が入らない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	●電源プラグを家庭用コンセントに、根元まで確実に差し込んでください。
	●電源プラグをコンセントに差し込んで電源が入らないときは、故障が考えられますので、山善 家電お客様サービス係へご相談ください。	
表示部に「[.]」と表示される	●待機状態のままにしているませんでしたか?	●待機状態のまま30秒間何も操作しないと、自動的にチャイルドロックが設定されて、表示部に「[.]」を表示します。電源スイッチを長タッチして、チャイルドロックを解除してください。
	●アダプタキャップが確実に取り付けられていますか?	●アダプタキャップをペットボトルに確実に取り付けてください。
水が漏れる	●やわらかいペットボトルを使用していませんか?	●廃棄するときつぶせるように、薄く作られているやわらかいペットボトルは使用しないでください。
	●本体内部のお手入れをしないで使用していませんか?	●15ページの「本体内部のお手入れについて」を参照して、お手入れしてください。
お湯がにおう	●樹脂部品が熱せられることで樹脂特有のにおいがすることがあります。	●はじめて使用するときは、樹脂特有のにおいがすることがあります。使用にともないにおいが少くなります。
	●やわらかいペットボトルを使用していませんか?	●廃棄するときつぶせるように、薄く作られているやわらかいペットボトルは使用しないでください。

こんな表示のときは

表示内容	原 因	処置 または お知らせ
E1 E2	●表示部に「E1」、「E2」が表示されたときは、温度センサーが故障しています。	●使用を中止してお買上げの販売店に修理を依頼してください。

点検のお願い

安全に長く愛用していただくために
日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグに深い傷や被覆破れがある。
- 電源プラグが変形している。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 水漏れする。
- 変形や破損している。
- 異常な音がする。
- 製品に触るとピリピリと電気を感じる。
- 製品が異常に熱かったり、こげ臭いなどの異臭がする。
- その他の故障・異常・破損がある。
- 電源プラグやコンセントにホコリやごみが付着している。

★異常があれば

使用中止!!

故障や事故防止のため、
電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検や修理を依頼してください。

ホコリやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

●本製品は、保証書が付いています。

お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入を受けてください。

●保証期間は、お買上げ日より1年です。

保証期間中の修理は、お買上げの販売店に依頼してください。

保証書の記載内容により、修理いたします。

その他詳細は、保証書を参照してください。

●保証期間経過後の修理(有料)については、お買上げの販売店に、依頼してください。

●本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●サービスパーティについて

アダプタキャップなどのサービスパーティについては、お買上げの販売店に、お問い合わせください。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取扱いや、お手入れ方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の依頼ができない場合は、 0570-077-078
右記へお問い合わせください。

FAXまたはEメールでのお問い合わせも受け付けています。

その際は、製品名、品番、お問い合わせ内容、お名前、電話番号を記入のうえ、 0120-680-287
お問い合わせください。

●FAXでのお問い合わせ
●メールでのお問い合わせ
●FAXでのお問い合わせ
●メールでのお問い合わせ

info_m@yamazen.co.jp

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。

個人情報の取扱いについて
株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を、お問い合わせへの対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。